

あらかわ

区議会だより

No.201

平成 21 年 8 月 9 日発行

編集・発行／荒川区議会 ホームページアドレス <http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>
〒116-8501 東京都荒川区荒川 2-2-3 電話03-3802-3111 (代表)

平成 21 年 第 2 回 定例会 号



区議会第2回定例会

一般会計補正予算など

議案12件を可決

区議会第2回定例会が、6月17日から7月1日までの15日間の会期で開かれました。

本会議の1日目には、4人の議員から区政全般にわたる一般質問が行われました(要旨は2・3面に掲載しています)。

本定例会では、議案18件が提出されました。このうち、議員から提出された議案1件、意見書1件と区長から提出された議案10件が原案どおり可決されました(議案の審議結果は4面に掲載しています)。

また、区長提出議案第45号は、区長から撤回請求があり、7月1日の本会議で撤回が承認されました。

第2回定例会日程

6月17日

本会議

6月19日

本会議

6月22日

総務企画委員会

福祉・区民生活委員会

6月25日

文教・子育て支援委員会

建設環境委員会

6月30日

議会運営委員会

7月1日

本会議

総務企画委員会

掲載記事のご案内

区政のこをきく

一般質問要旨

服部敏夫 議員(自民党)

武藤文平 議員(公明党)

安部キヨ子 議員(共産党)

瀬野喜代 議員(民主市民)

採択した請願・陳情

意見書提出

議員の辞職について

議案を傍聴しませんか

4面

全国市議会議長会における議員表彰

議案の審議結果

声の区議会だより

区議会ホームページ

3面・2面

区政のつとをわたくし

一般質問要旨

荒川区の活性化と密集住宅市街地整備促進事業について



服部 敏夫
(自民党)

荒川区の活性化について

地域の活性化につながるイベントとして、「あらかわバラの市」をより発展させるため、都電とハラというコンセプトをベースに都電沿線に会場を上げ、バラの育て方なども伝えてはどうか。また、荒川区、日暮里の名を内外に大きく広めるため、成田新高速鉄道開通に併せ、日暮里駅前イベント広場でオープニングイベントを開催し、その後もイベントを継続して実施すべきと考えるがどうか。

景観形成の推進を図るために策定する景観計画の検討にあたっては、区外から人を集め、地域の活性化に寄与できる景観という視点を加えるべきと考えるがどうか。

区内の歴史的・文化的資源を次世代へ継承し、内外へ情報発信することで、多くの人々が訪れ、区内の活性化に寄与する街並み景観づくりを推進できると考えており、区議会や区民の意見を聴きながら検討していきたい。

荒川二丁目自防上有効なオープンスペースが乏しく、大規模地震発生時に多くの人命や財産が失われる危険性がある。都営住宅跡地等を活用し、密集事業を推進すべきと考えるがどうか。

防災まちづくり推進のため、大規模なオープンスペースの効果的な活用が不可欠と考えられており、都営住宅跡地の取得に向け都と協議を進めている。区としては、これらの跡地を活用し、密集事業に

よる災害に強いまちづくりのモデルとなるよう取り組んでいく。

荒川二丁目用地に建設予定の図書館、文学館、児童育成施設は、区の文化・子育ての拠点となる施設であるため、ソフト面も重視すべきと考えるがどうか。

荒川二丁目用地への複合施設整備により、多様な事業展開と効率的な施設運営を図ることが可能になると考えている。様々な方面からの意見も十分に聴き、将来を見据え、ハード、ソフト共に充実した施設にしていきたい。

荒川区にふさわしい良好な

戦略的な産業振興策と福祉施策の充実について



武藤 文平
(公明党)

戦略的な産業振興策について

ものづくりのまち荒川を再生し、地域経済力を強化するための方策として、起業家支援、産学公の連携強化、区の実態調査に対応した個々の企業の特長や強みを見出し、その資源を最大限に活かすような支援を行うことが重要である。この点を踏まえ、戦略的な区内ものづくり企業への支援策について区の見解を伺う。

区内ものづくり企業への支援については、ベンチャー企業への育成、優れた技術を持つ企業への支援の高度化、小規模企業の経営体質の改善・強化の3つの視点から支援を行うことが重要である。具体的には、起業家支援塾の充実や区内ものづくり技術との連携を可能とする環境整備、M.A.C.C.プロジェクト推進や山形大学工学部等との連携による支援強化、小規模企業の実態やニーズにあった支援策の構築などを展開していく。

商業や商店街の活性化策として、やる気のあるリーダーのい

る商店街を先行的かつ重点的に支援することにより、戦略的に成功事例を作り出し、この事例を他の商店街に広めていくという新たな手法を取ってはどうか。

連携協力の協定を締結した山形大学工学部が区の補助事業を活用したモデル商店街の戦略的な活性化策の調査・研究や関係者も交えた活性化策の検討の意向を示しており、これらの結果を踏まえ、本格的な支援策を構築し、商店街の活性化を図ってきたい。

福祉施策の充実について

平成23年度末で廃止予定の介護療養型医療施設について、利用者の受け皿確保、医療機関の転換意向未定の問題から、廃止の凍結を国に要望すべきである。また、区としても老人保健施設等への転換を支援すべきと考えるがどうか。

また、老人保健施設等への転換促進のため、新たに整備費補助金を予算計上したところであり、その積極的な活用を図っていく。

地域密着型サービス、特に、居室における生活の継続を支援する小規模多機能型居宅介護サービスの課題を整理した上で、区独自の支援策を講じ、中長期的な視点から介護サービスの拡充を図るべきと考えるがどうか。

今後、小規模多機能型居宅介護サービスの重要性は増すものとされており、事業者等の意向を踏まえ、課題を整理し、制度の改善を国に要望するとともに、区の支援策を検討していく。

随書者自立支援法における利用者負担について、国に先行して利用者負担軽減策を実施してきた区として、国の軽減策よりも一歩リードした取り組みの意思を表明すべきと考えるがどうか。

利用者負担の軽減策については、国の軽減策よりも区の軽減策が上回ることから、今年度も継続したところである。今後も国の動向を注視した上で、実効性のある施策を検討していく。

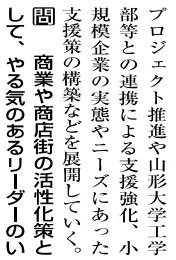
その他の質問項目

経営戦略について

経営環境・制度改革について

街づくりについて

荒川区にふさわしい良好な



詳細については現在作成中の会議録がほしい、区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。

また、荒川区ホームページの区議会情報のページ (<http://www.city.akakawa.tokyo.jp/kyugikai/>) で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。

あわせてご利用ください。

本会議、委員会は傍聴することができます。

傍聴をご希望の方には、会議当日に区役所5階の議会事務局で傍聴券を交付します。なお、定員は本会議80人、委員15人です。

会議の予定、傍聴に関する詳細は、議会事務局までお問い合わせください。

内線3614

議員の辞職について

7月2日、瀧口学議員(民主党・市民の会)から、議長に「辞職願」が提出され、同日、議長はこれを許可しました。



高齢者の医療・介護・福祉の改善と地域経済活性化のために中小企業・業者の応援を



安部 キヨ子
(共産党)

高齢者の医療・介護・福祉の改善
高年齢者の医療費窓口負担の軽減を国都に求めるべき。また、区として75歳以上の医療費無料化を検討すること。
答 医療保険制度を持続可能なものとするため、被保険者の応分の負担は必要不可欠と認識している。

高年齢者の医療費が掛かった場合には高額療養費の支給制度により負担の軽減が図られている。
問 紙おむつの支給を一律65歳以上と制限せず、要介護度や年齢に関わらず、必要な方は支給の対象者とするよう改善すべき。
答 紙おむつ購入費助成の対象者の要件は、心身の状況だけでなく、財政負担などを総合的に勘案しなければならぬと考えており、対象者の拡大は、他自治体の動向を踏まえ、慎重に検討していく。

高齢者住宅で孤独死が発生しており、入居者の異常発生を知らせる安否確認システムの改良、改善が必要である。新たなシステムの導入を含め、検討すべき。
答 近年入居者が死亡するケースでは、安否確認システムにより、ふれあい協力が異変を発見しており、区では現行のシステムに特に問題があるとは認識していない。

地域経済活性化のために中小企業・業者の応援を
問 中小企業・業者の支援として、ひろは館などの区民施設の天井壁のひびの修復や内装補修、畳替えなどを区内業者を活用して積極的に行うこと。
答 区では、専門相談員の設置、就業支援策、経済的な支援のほか、様々な事業に取り組みしており、さらなる支援策を検討していく。

問 区では、区内業者を活用し、区民施設改修の早期発注や前倒し実施とともに、小破修繕も迅速な対応に努めており、今後の確かな改修等に努めていく。
問 プレミアム付きお買い物券発行に対する助成に続き、「消費税ゼロ」の日の設定し、その助成をするなど、思い切った商店街支援策を実施すること。
答 区では、商店街が実施する特価販売への補助を既に実施している。区としては、商店街が創意工夫を凝らして行う活性化のための事業に対して重点的に支援していく考えである。

問 ものづくり支援として、空き店舗を使った伝統技術・マイスターなどの常設展示、実演販売の場を設置し、商店街振興、観光振興につながる対策を実施すべき。
答 空き店舗での常設展示等は、運営主体や製品の管理などの課題がある。区では区外へのPRに重点を置き、モノづくりの街荒川と荒川ブランドの優れた製品の魅力を発信していく。また、空き店舗対策にも積極的に取り組んでいく。
○子育て支援のために保育園の待機児解消について

現下の厳しい雇用状況の中で、求職や各種助成金の申請、職業訓練の申し込みなどで、地域のハローワークの窓口は、大変な混雑を呈しています。中には、窓口で3時間、4時間待ちの状況が生じており、窓口機能が極端に低下している状況が見られます。
また、休日、夜間の相談を求めニーズも高くなっており、現状では対応に苦慮している実態も見られます。
こうした状況に対応するため、今般の「経済危機対策」において、ハローワークの機能強化を図るため、人員体制、組織体制を抜本的に充実、強化することが決定されています。
よって荒川区議会は、政府に対し、下記事項に配慮の上、機能強化を図るよう強く要請します。

「子どもの貧困」の現状と対策、低所得高齢者向け支援付き住宅について



瀬野 喜代
(民主・市民)

「子どもの貧困」の現状と対策について
問 子どもの貧困は、健康、学習歴ひいては人生全般に大きな影響があり、世代間の連鎖が統計上明らかになっているが、現状と世代間連鎖についての見解を伺う。
答 子どもの貧困問題に率先して取り組む必要があると認識し、

検討委員会を設け、原因等の分析、課題等の検討を行い、対応可能なものから速やかに実施する。貧困の連鎖の問題等について、設立予定の荒川区自治総合研究所で、専門家の協力を得て、調査研究していく。
問 ひとり親、特に母子家庭への支援が重要。自然体験やコン

サートへの招待等の支援や病後児保育のヘルパー派遣などを実施している。
問 区では、専門相談員の設置、就業支援策、経済的な支援のほか、様々な事業に取り組みしており、さらなる支援策を検討していく。
問 中卒や高校中退者を把握し、就学や就労への相談支援体制の強化が必要と考えるかどうか。
答 区では、個別相談の実施、就労支援、中学校での職業意識の醸成に取り組んでおり、今後も支援策の充実に努めていく。

問 住宅マスタープランにおける空き家住宅の活用として、NPO法人等が提案する支援付きの高齢者向け住宅の制度化を推進し、モデル住宅をつくっていくかどうか。
答 高齢者向け支援付き住宅は、その整備の必要性を認識している

が、防災性や居住性など一定の水準が必要であり、空き家住宅をどのように活用できるか、実態調査の結果を踏まえ、検討していく。
問 今年度から実施する全戸調査において、1万2千戸の空き家住宅調査、大家の意向調査など、高齢者向けの支援付き住宅も見据えた調査をすべきと考えるかどうか。
答 区では、今年度実施する調査で空き家住宅も調査する。高齢者向け支援付き住宅への転用に関しては、オーナーの意向を把握し、今後の取り組みに反映させていく。

その他の質問項目
○地域福祉の推進について
○化学物質使用を減らす対策



採択した請願・陳情
趣旨要約
「気候保護法（仮称）」の制定を求める意見書の提出についての陳情

意見書提出

本定例会では、1件を可決し関係機関に提出しました。

ハローワーク機能の抜本的強化を求める意見書

夜間の窓口業務の開庁を行うなど機能強化を図ること。
3 ジョブカードの推進にあたる職業訓練情報等連携推進員については、ジョブカフェなどへの重点配分を行い、若者、学生などの就職相談機能を強化すること。

4 雇用調整助成金の申請にあたっては、申請アドバイザーの機能を強化するとともに、アウトリーチ（出張相談支援）の相談体制や、必要に応じて社会保障労務士の活用を図るなどきめ細やかな体制整備を図ること。



平成21年荒川区議会第3回定例会は9月中旬に開会する予定です。

全国市議会議長会における議員表彰

5月27日に開催された全国市議会議長会定期総会において、永年勤続議員として3人の議員が表彰されました。

10年在職議員

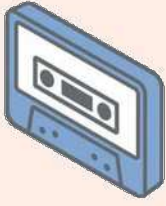
- 茂木 弘 議員
- 若林 清子 議員
- 竹内 捷美 議員

声の区議会だよりをご利用ください

荒川区議会では、議会の活動状況を「あらかわ区議会だより」でお知らせしていますが、目の不自由な方に、議会の活動状況を知っていただくため、「声の区議会だより」を発行しています。

「声の区議会だより」は、「あらかわ区議会だより」の内容をテープに吹き込み、貸し出しするものです。

ご家庭や、お知り合いの方で、ご希望の方がいらっしゃいましたら、議会事務局にご連絡ください。



内線3616

議案の審議結果

平成 21 年第 2 回定例会

○ 賛成 × 反対 - 退席

太字は討論のあったことを示す

欠 欠席

議案番号・議案名	結果										議案番号・議案名	結果									
	会派名・結果 (数字は会派人員)	自由民主党 14	公明党 6	日本共産党 6	民主党・市民の会 3	あらかわ元気クラブ 1	尚志会 1	あらかわ正論の会 1	結果	議案番号・議案名		会派名・結果 (数字は会派人員)	自由民主党 14	公明党 6	日本共産党 6	民主党・市民の会 3	あらかわ元気クラブ 1	尚志会 1	あらかわ正論の会 1	結果	
議員提出議案 (7件)											その他										
第10号 東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙における候補者の推薦について (茂木弘議員)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	第39号 荒川区特別区税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第11号 荒川区行政委員会の委員等及び非常勤の監査委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	第40号 荒川区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第12号 荒川区重度要介護高齢者福祉手当条例	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	第41号 荒川区住民基本台帳ネットワークシステムの適正管理等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第13号 荒川区高齢者介護保険料負担軽減助成条例	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	第42号 荒川区ふれあい館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第14号 荒川区高齢者入院見舞金の支給に関する条例	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	第43号 荒川区手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第15号 荒川区シルバーバス費用負担額の助成に関する条例	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	第44号 平成 21 年度荒川区一般会計補正予算 (第 1 回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第16号 ハローワーク機能の抜本的強化を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	第46号 包括外部監査契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第37号 一般財団法人荒川区自治総合研究所に対する助成等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	第47号 (仮称) 荒川三丁目ふれあい館及び荒川備蓄倉庫建築工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第38号 公益的法人等への荒川区職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	第45号 議案の撤回について ((仮称) 荒川三丁目ふれあい館及び荒川備蓄倉庫建築工事請負契約)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議員提出議案 第 10 号：6 月 19 日議決 左記以外の議案：7 月 1 日議決

荒川区議会ホームページをご覧ください

荒川区議会では、ホームページを開設しています。議会の活動状況をお知らせするほか、議会のしくみ、傍聴案内など、区議会に関する様々な情報を掲載しています。荒川区議会ホームページの主な内容は次のとおりです。

- 議会録画中継
本会議の録画映像をご覧になることができます。映像は1年間掲載しています。
- 委員会録音中継
常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の模様を音声で配信しています。音声はそれぞれの委員会会議録が完成するまでの間、掲載しています。
- 区議会会議録の閲覧
平成20年4月以降に開会された本会議及び委員会の会議録が登録されています。キーワードによる検索や発言者による検索をすることもできます。また、それぞれの本会議、委員会の資料を閲覧することもできます。
- 本会議録の検索
平成13年5月～20年3月に開会された本会議録を閲覧することができます。キーワードによる検索をすることもできます。
- 議会日程
本会議、委員会の開会予定日時を掲載しています。
- 議事内容
平成13年第1回定例会以降の一般質問要旨、議案の審議結果、意見書、採択・趣旨採択された請願・陳情を掲載しています。
- 議員名簿
荒川区議会議員の会派別の名簿を掲載しています。
- 区議会だより (PDF版)
平成15年第1回定例会以降のあらかわ区議会だよりをご覧になることができます。



ホームページ
http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/